

ガーデンシンク クラッシー ブリックタイプ/ナチュラルウッドタイプ ラージサイズ

※施工後は必ず施主様に取扱説明書をお渡しください

この度は、当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また読み終わった後も必ず保管してください。

安全に使っていただくために

- 製品が安定する平らな場所に設置してください。一方から力を加えるとぐらつくことがあります。ぐらつきが少なくなるよう脚の位置を調整してから、アンカー等で固定してください。脚がまっすぐ立っていなかったり、平行でなかったりすると大きくぐらつく原因となります。
- 天板を持って、持ち上げたり、移動させたりしないでください。破損する恐れがあります。施工後は移動させないでください。
- 製品に寄り掛かったり、のぼったり、ぶら下がったりしないでください。破損する恐れがあります。
- 寒冷地用製品ではありません。凍結の恐れのある地域では、別途水抜き栓を設置し、配管内の水を抜いてください。
- 水栓（蛇口）先端の泡沫金具は、凍結により破損しやすい部品が内蔵されています。凍結が考えられるときは、使用後に、泡沫金具内に水が残らないようにタオル等で吸い取っていただくか、泡沫金具ごと取り外して凍結しない場所に保管するようにしてください。破損してしまったときは、お近くのホームセンター等で内部部品をお買い求めください。（メーカー：㈱カクダイ。品名：泡沫内芯。品番：0792。）
- 陶器に熱湯を注がないでください。また、陶器に硬いものを落とさないでください。破損する恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部を素手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったままで使用しないでください。ケガをする恐れがあります。
- 砂、土が付いたまま洗わないでください。排水管が詰まり、排水不良の原因になることがあります。
- 炊事や洗濯などから排出される生活排水は、設置した地域の法令に従い、適切な排水工事を行ってください。
- 製品表面は塗装仕上げですので、衝撃や擦れなどにより欠けたり、はがれたりする恐れがあります。取り扱いには十分にお気を付けください。
- 製品の特性上、寸法にはバラつきがあります。また天板や脚の表面に凹凸があります。ご理解の上ご使用ください。
- 製品の特性上、表面に気泡がある場合があります。また、手作業での色付けのため、色にはバラつきがあります。

施工時の注意点

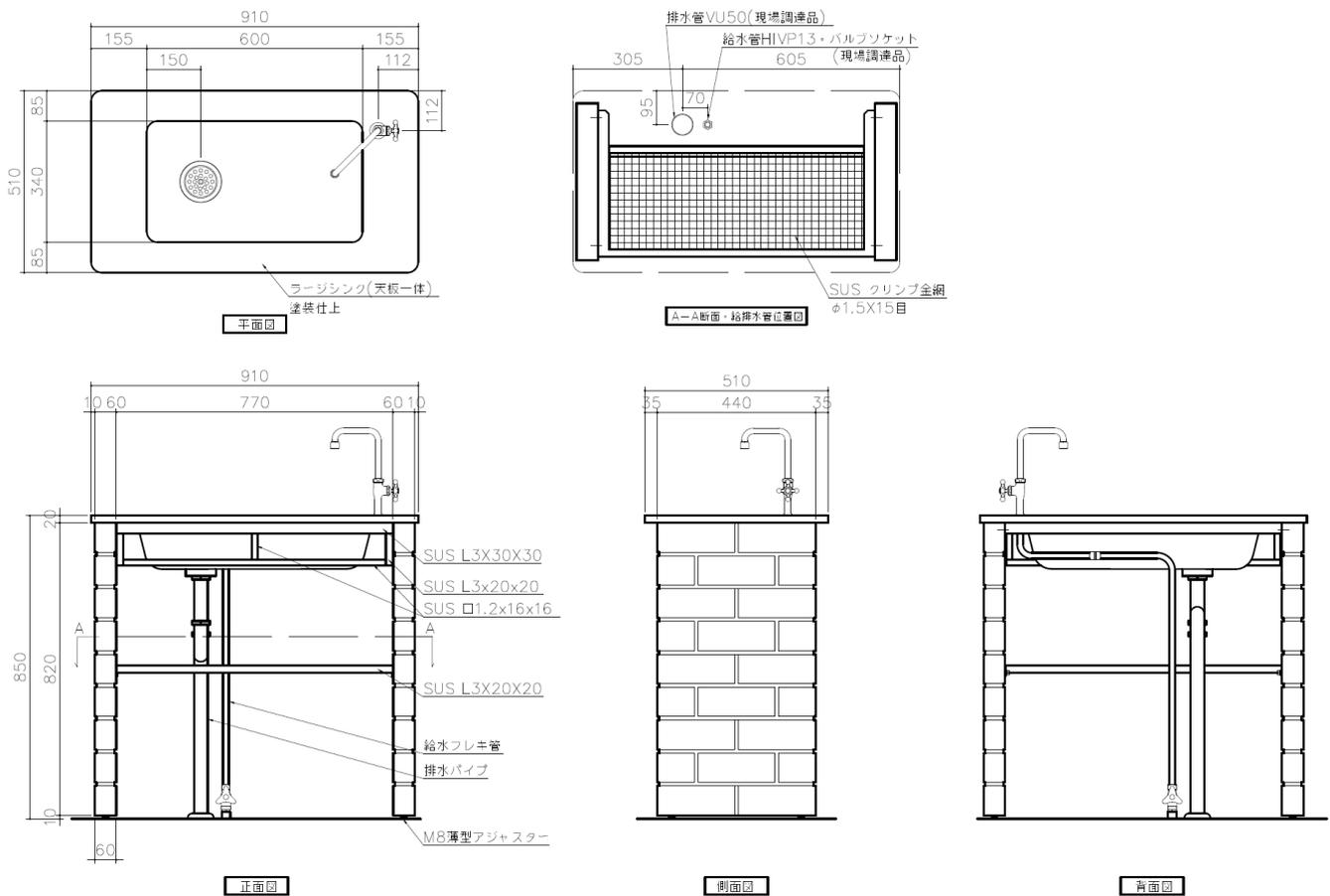
- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 脚を連結する鋼材のネジや、陶器の排水金具のネジを締めすぎないでください。破損する恐れがあります。
- 施工後に漏水検査を必ず行ってください。
- 天板を持って、持ち上げたり、移動させたりしないでください。破損する恐れがあります。移動するときは、脚を下から持ち上げておこなってください。
- 製品が動いたり、転倒したりすることがないように、アンカーボルト等でしっかりと固定してください。
- 給排水管の施工位置は、シンクのタイプによって異なります。**次ページからの施工図でご確認ください。
- 排水管の太さは、シンクのタイプ、排水管の仕様によって異なります。

ラージシンクのパイプ排水仕様は必ず VU50 を使用してください。（その他の場合は VU40 です。ホース排水仕様については、すべて VU40 を標準としますが、VU50 にも対応しています。）

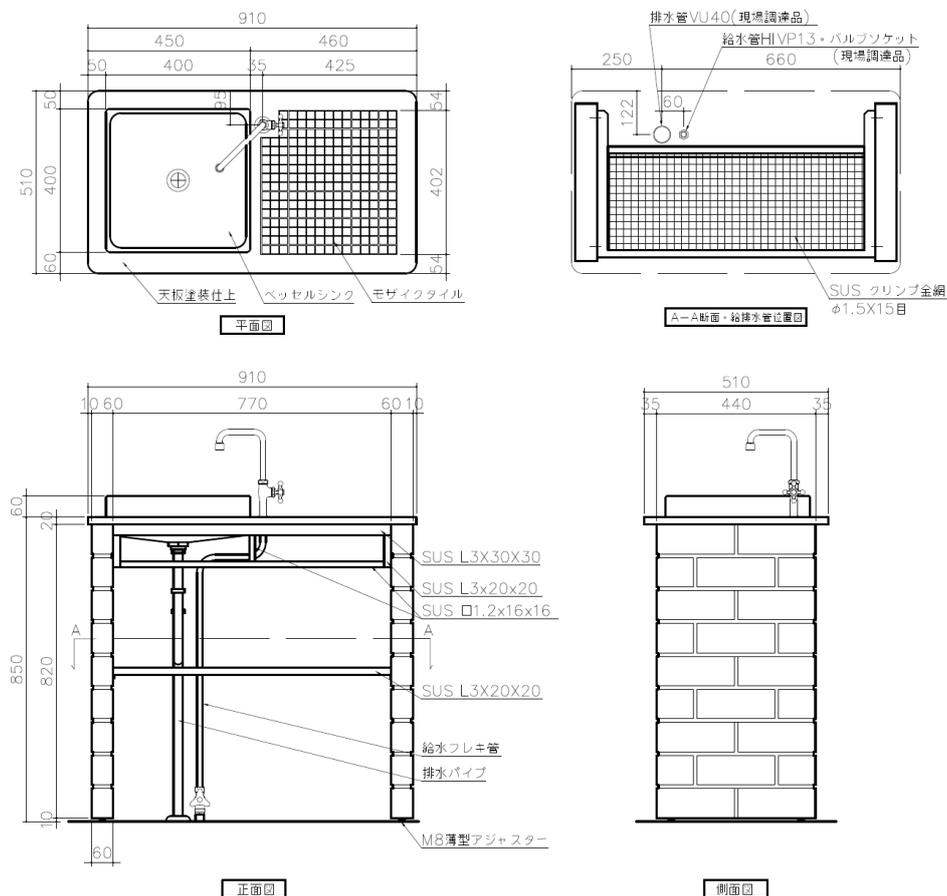
ガーデンシンク クラッシー ブリックタイプ/ナチュラルウッドタイプ ラージサイズ 標準施工図

(図面はブリックタイプ パイプ排水仕様です。給排水管施工位置はホース排水仕様と共通です。またナチュラルウッドタイプとも共通です。)

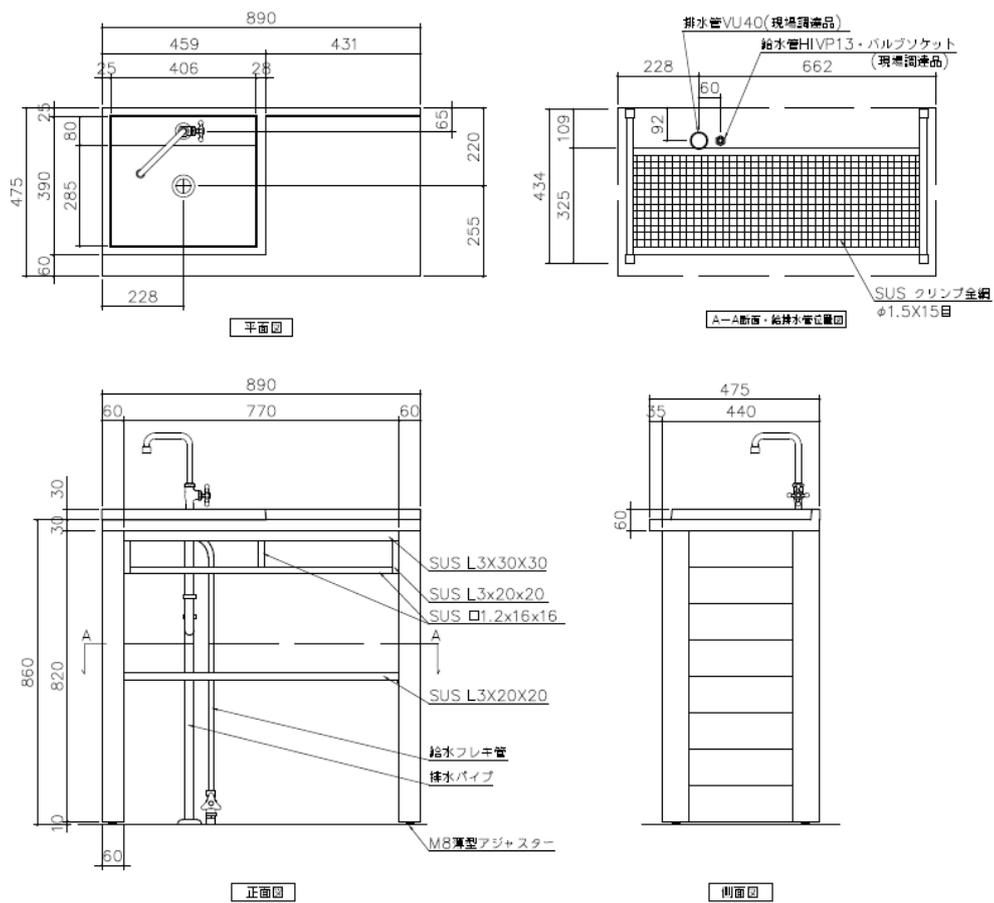
■ ラージシンク



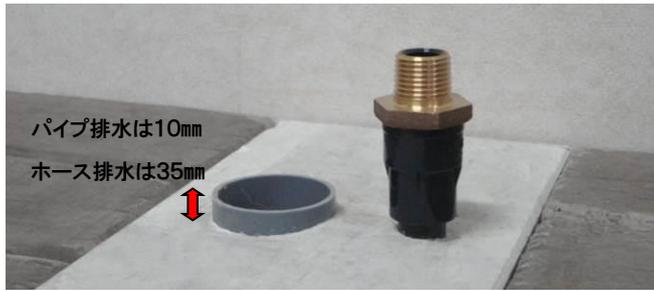
■ ベッセルシンク



■モノシンク ラージサイズ



施工要領 (画像はブリックタイプですが、ナチュラルウッドタイプと共通です。)



①あらかじめ設置位置に墨出しを行い、シンクに応じた位置に、バルブソケットをつけた給水管(HIVP-13)と、排水管(VU40、ラージシンクのパイプ排水仕様は VU50)を施工図の位置に出しておきます。(現場調達品)

給水管は任意の高さ。排水管の高さは床面から

パイプ排水仕様の場合 10mm

ホース排水仕様の場合 35mm とします。

シンク施工直前にフラッシングをして、給水管内の異物を洗い流しておきます。



②養生の上に脚を寝かせて、脚の底面にアジャスター4本をねじ込みます。両脚の1か所ずつに写真のようにアンカー固定金具を取り付けておきます。(アンカーの位置は任意です。しっかりと固定できる位置にアンカーを取り付けてください。)



③両足と上下段の鋼材をボルトで連結します。ボルトにはスプリングワッシャーとワッシャーを入れてください。ラチェットなどで力いっぱい締めすぎないようにしてください(締め付けトルクは12.5N・m程度)。連結できたら施工位置に仮置きし、傾き、ガタつき、歪みがないか確認します。いずれかがある場合はアジャスターの高さを調整したり、鋼材の連結をやり直したりして本体を安定させます。(水準器を使用してください。本体に歪みがあると一定方向からの力に揺れが生じやすくなります。)



④アンカー固定用金具をアンカーで固定します。あと打ちアンカー等の穴が開けにくい場合は、穴位置をマーキングした後、本体を前方に倒す(ずらす)などしてから穴を開け施工します。(アンカーは十分な荷重に耐えられるものを施工する床材に応じて現場で手配してください。本体が動いたり、転倒したりすることがないように、しっかりと固定してください。)



⑤天板を乗せる前に、緩衝テープを本体の上面に貼りつけます。鋼材の穴をふさがないように外側いっぱいにはりつけます。



⑥天板を本体に乗せます。天板は形状によって、破損しやすい箇所がありますので、丁寧に取り扱いください。鋼材の下側からゴムワッシャーをかませた、ブラッシュクリップを天板の3か所の穴に差し込み固定します。ブラッシュクリップの入り浅いときはゴムワッシャーをはずしてください。

モノシンクは、ブラッシュクリップを使用せず、スプリングワッシャー、ワッシャーの順に M6のボルトに通して3か所の穴にねじ込み固定します。

(写真はミドルサイズです)



⑦天板の穴にタップを取り付けます。(写真はミドルサイズです)



⑧床面から出しておいた給水管に化粧バルブを取り付けます。オプションのホース用分岐タップを取り付ける場合は、化粧バルブの上に取り付けます。(ゴムパッキンがない接続箇所はシールテープを右巻きに7~8回巻きます。)



⑨給水管側と天板に取り付けたタップをフレキ管で接続します。フレキ管は手で曲げられますが、半径 50mm以上の緩やかなカーブで曲げます。また、継手の近くでは曲げないようにしてください。水漏れの原因になります。ラージシンクの場合は、フレキ管用ニップルで、フレキ管を接続して延長してください。左写真のようにフレキ管の長さが余ったときは、適当な長さでカットし、ツバ出し工具を用いてツバ出しを行い調整すると右写真のようにすっきりと仕上がります。

ホース排水仕様の場合



⑩ベッセルシックの場合はシンクを天板の穴に入れます。シンクの穴に排水金具を取り付けます。排水金具に排水パイプを差し込み、締め付け金具で抜けないように締め付けます。



反対側の先端をハサミ等でカットし、防臭キャップに差し込みます。臭いが上がってこないようにするため、排水管を一周ねじり、床面から出しておいた排水管に固定します。

パイプ排水仕様の場合



⑩床面から出した排水管にクリーンパッキンを取り付けます。ベッセルシックの場合はシンクを天板の穴に入れます。シンクの穴に排水金具を取り付けます。写真のように排水パイプ(Sトラップ)を接続し、クリーンパッキンに3cmほど差し込める長さに排水パイプの下端をカットし、隙間がないように接続し、ワン座金をかぶせます。(ワン座金はあらかじめ排水パイプに通しておきます。)

⑪ベッセルシックはシンクに付属の取扱説明書をご覧ください。ベッセルシンク付属の排水金具のゴム栓についているチェーンは使用しませんので取り外してください。ベッセルシンク、モノシンクは、付属のゴミ取り網を排水金具に落とし込みます。





⑫最後に、通水し、漏水がないか確認します。

注意！

天板を乗せてからの移動は厳禁です。天板を持って本体を移動したり、持ち上げたりしないでください。

